

《最近の県内経済》 (2024年7月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



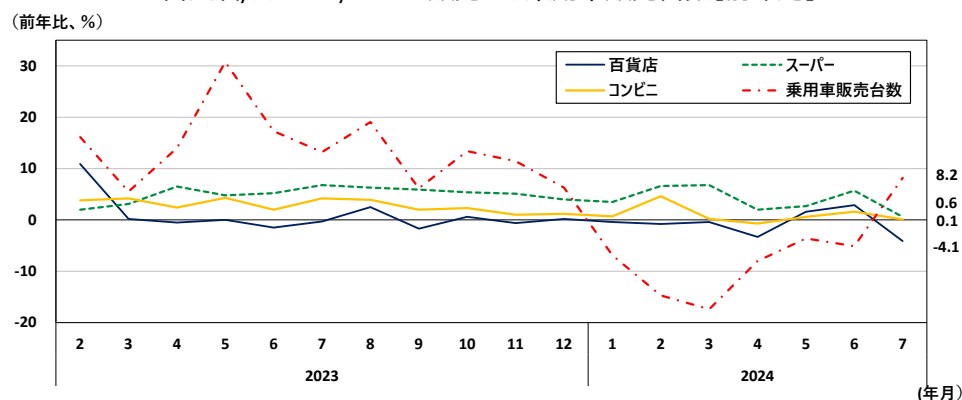
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



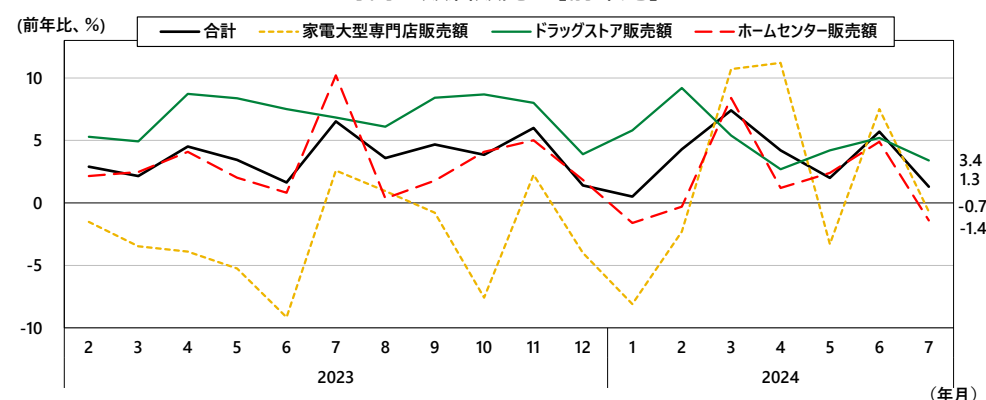
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

7月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は120億円で前年比4.1%減(3か月ぶりの減少)、スーパーは1,093億円で同0.6%増(22か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は611億円で同0.1%増(3か月連続の増加)となった。

また、乗用車販売は、前年比8.2%増と7か月ぶりの増加となった。内訳をみると、普通車が同7.7%増(2か月ぶりの増加)、小型車が同11.2%増(11か月ぶりの増加)、軽乗用車が同6.8%増(9か月ぶりの増加)とそれぞれ増加となり、不正認証の影響がうすれている。

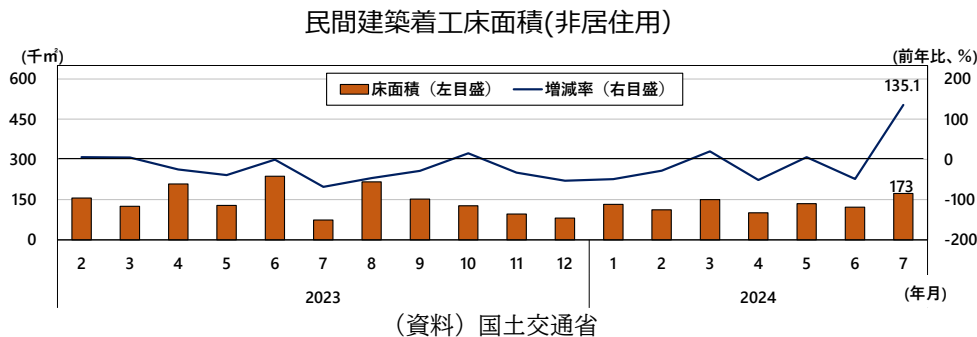
7月の専門量販店販売額は、862億円で前年比1.3%増と23か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が211億円で同0.7%減(2か月ぶりの減少)、ホームセンターが200億円で同比1.4%減(5か月ぶりの減少)となったものの、ドラッグストアが452億円で同3.4%増(26か月連続の増加)となった。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、6月〈37.4〉、7月〈37.6〉、8月〈37.1〉と推移している。

2 設備投資～持ち直しつつある



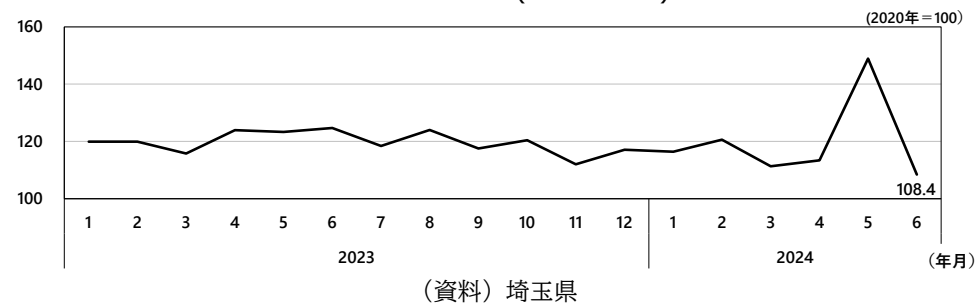
前月比



7月の民間建築着工床面積(非居住用)は、173千㎡で前年比135.1%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比11.7%減)。

用途別にみると、店舗、工場及び作業場は減少したものの、事務所、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)

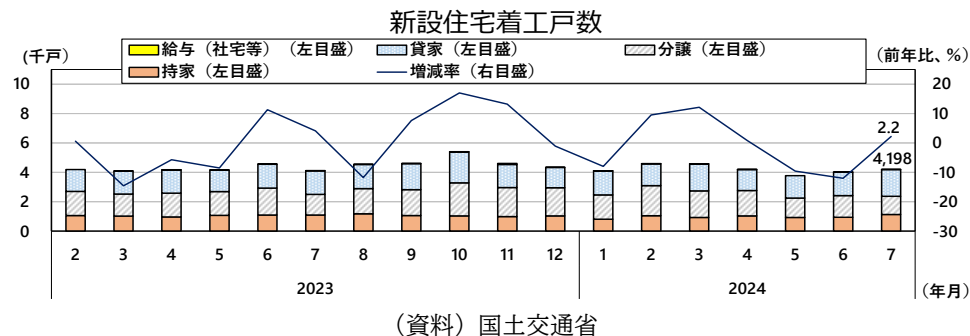


5月の資本財出荷指数(季節調整済)は108.4で、前月比27.2%減と3か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均は、前年比1.6%減少)。

3 住宅建設～一進一退



前月比

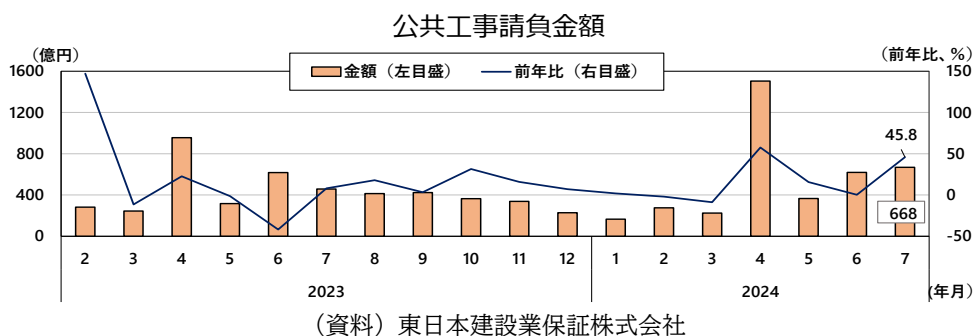


7月の新設住宅着工戸数は、4,198戸で前年比2.2%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では1.5%減)。利用関係別にみると、分譲マンション(132戸)が同53.8%減、分譲一戸建て(1,104戸)が同1.4%減となったものの、持家(1,137戸)が同3.5%増、貸家(1,822戸)が同13.9%増といずれも増加した。

4 公共工事～底堅く推移している



前月比

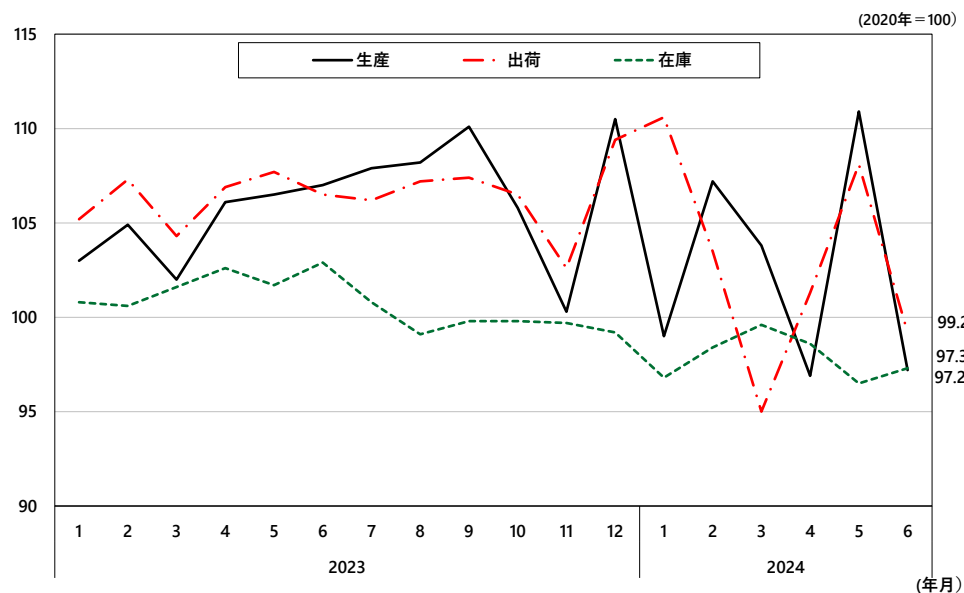


7月の公共工事請負額は668億円、前年比45.8%増となった(4か月連続の増加)。5か月後方移動平均でも前年比30.4%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、都道府県は減少したものの、独立行政法人等、市区町村、地方公社は増加した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



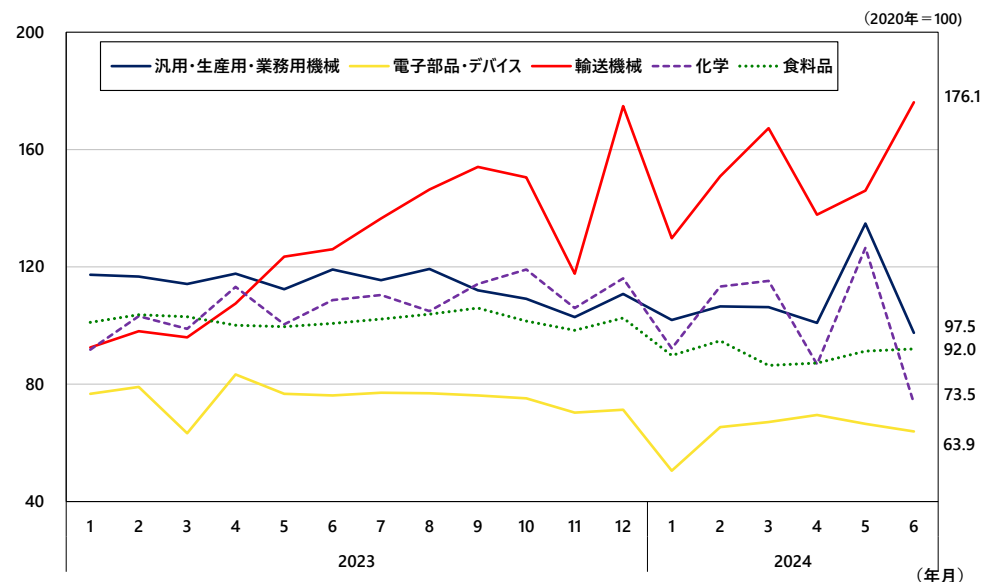
(資料) 埼玉県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.2で前月比12.4%低下した(2か月ぶりの低下)。輸送機械(航空機用部品)、食料品(アイスクリーム、氷菓)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、99.2で同8.2%低下した(3か月ぶりの低下)。食料品(アイスクリーム、野菜漬物)、繊維(織物製繊維製品、ニット製外衣)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、化学(医薬品、化粧品)などが低下した。

在庫指数(同)は、97.3で同0.8%上昇した(3か月ぶりの上昇)。輸送機械(乗用車、普通トラック)、プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)などが低下したが、窯業・土石製品(セメント、遠心力鉄筋コンクリートパイプ)、生産用機械(整地機械、食料品加工機械)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



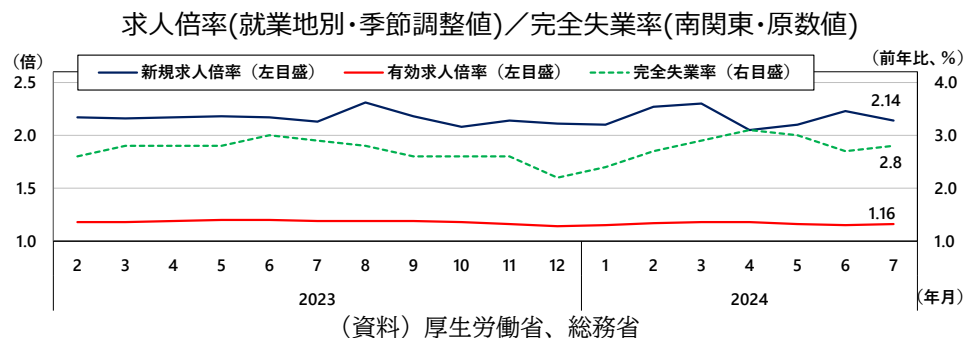
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、97.5で前月比27.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、63.9で同3.9%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、176.1で同20.6%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、73.5で同41.9%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、92.0で同0.8%上昇し、3か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



前月比

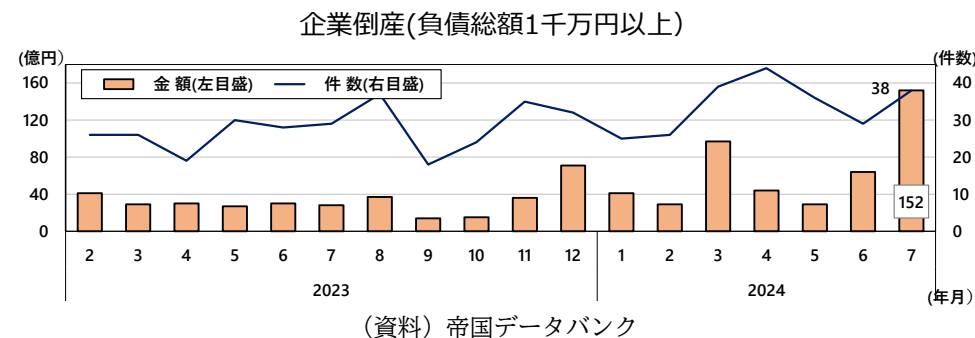


7月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.01ポイント上昇(3か月ぶりの上昇)、新規求人倍率(同)は、2.14倍で同比0.09ポイント低下(3か月ぶりの低下)となった。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.1ポイント低下した(前年同月比2か月連続の低下)。

7 企業倒産 ～増加傾向にある



前月比

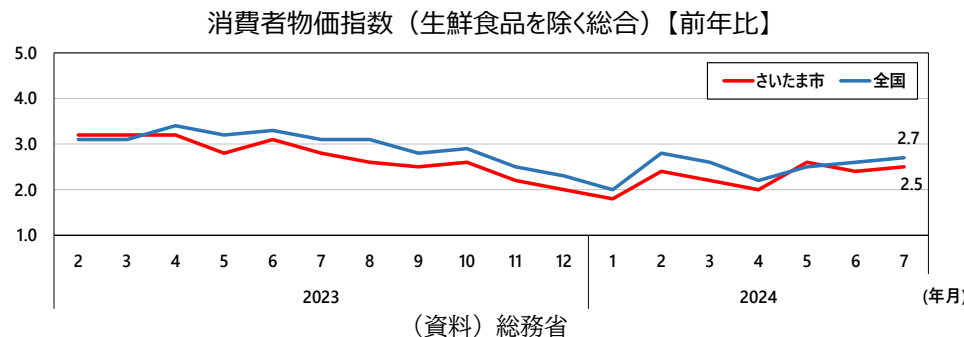


7月の企業倒産件数は38件で前年同月比9件の増加となった。また、負債総額は152億円で同124億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比11件の増加、負債総額は同48億円の増加)。
業種別にみると、サービス業が最多で9件、次いで建設業が7件、製造業、卸売業、小売業がそれぞれ6件となっている。主因別では、販売不振が30件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率が高止まりしている



前月比

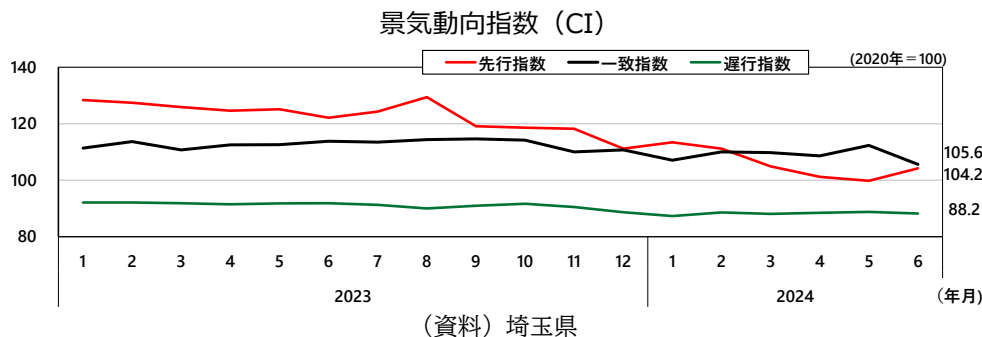


7月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.3で前年同月比2.5%上昇した(34か月連続の前年同月比上昇)。
光熱・水道(電気代)、教養娯楽(旅行費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～足踏みを示している



前月比



- ・6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、105.6で同6.7ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、104.2で同4.4ポイント上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、88.2で同0.6ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。